

# 北海道札幌琴似工業高校

## ロボット研究部

### の 校生!

#### ★琴似工業高校ってどんな学校?

市内に2校ある工業高校の1つ。電子機械・電気・情報技術・環境化学の4学科に分かれて各専門分野を学んでいます。

#### ★全国の高校生と技術を競う!

高校生だけで一からロボットを製作し、その精度を競う「全国高等学校ロボット競技大会」や「ジャパンマイコンカーラリー」に向けて、設計や組み立てを行っています。



高校生。「どんな学校生う」と思ったことはありません。部活動を訪問!西区で頑にお届けします!

#### 訪問レポートその1 部活動の様子

8月某日。ロボット競技大会の予選を目前に控えたこの日、大型機械がいくつも並ぶ一室を訪れると、ロボットの最終調整が行われていました。

今回出場するロボット。春に発表された大会要綱に沿って、試作を繰り返しながら完成を目指します。



部品を切って微調整。機械の操作は学校の授業で学ぶそうです。



要綱は毎年変わります。今年は1対1でプラスチックボトルを打ち合う対戦競技。実際に打つと2メートル以上も飛びます!



同校にはロボット研究部の他に機械制御同好会もあり、同じ大会に出場します。先生にアドバイスをもらいつつ、改善策を考える表情は真剣そのもの。

#### 訪問レポートその2 部員インタビュー

1年生の時から専門的な分野を学ぶ工業高校。電子機械科3年生、部長の高木<sup>たかぎ</sup>溪さんに部活動や学校の授業について教えてもらいました!

#### ーどうしてロボット研究部に入ったの?

普段の授業でも機械の操作方法を習得するため、理論を学んだり機械の操作をしたりしていますが、もっと機械に触れて、自分の技術を向上させたいと思ったからです。

ロボット研究部が使用する機械は、普段の授業でも使われているもの。その一部をご紹介します。

#### ーロボット作りの魅力って何?

みんなで想像力を働かせて試作を重ね、最後に一つの完成品ができることです。



鉄などを削る機械の一つ。この他に事前にプログラムすると自動で作動する機械もあります。

#### ー将来の夢を教えてください!

自動車メーカーで働くこと。そしていろいろな分野の技能者が日本一を競う「技能五輪全国大会」に出場することです。



この鉄の棒が...



こんな部品になります!



部長の高木さん